

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	27年度決 算額[千 円]	28年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容	29年度予 算額[千 円]
1	一般	8	1	1	321安全でゆとりある道路の整備	用地事務に要する経費	道路河川整備課			①事業用地取得事務に係る参考図書の購入及び協議会負担金、研修費、旅費及び消耗品等の購入。 ②事業用地取得事務に関する法改正等による基準の変更等に迅速に対応しなければならない。	65	65	6精査・検証	①事業用地取得事務に係る経常的な経費であるが、更に精査・検証が必要である。 ②事業に有効な経費の執行を行う。	76
2	一般	8	2	1	321安全でゆとりある道路の整備	道路橋梁事務に要する経費	道路河川整備課			①主要市道整備事業、一般市道整備事業、私道整備事業等を遂行するために必要な経費の支出。 ②道路網の整備、生活道路の整備が追いついていない。	928	911	6精査・検証	①道路整備を進めていくうえで、必要な経費であるため。 ②補助金の導入を積極的に図るため、関係機関と連携し道路事業を推進する。	933
3	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	主要市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。 ②市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。	219,836	289,032	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠である。 ②事業量を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。	139,834
4	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	交差点改良事業	道路河川整備課	○	○	①安全で快適な道路網整備のため、主要な交差点の右折車線、歩道の整備、交差点形状の改良を行い交通渋滞の緩和、交差点付近の安全性の向上を図る。 ②幅員が狭く見通しの悪い市道の交差点が多い。	0	2,621	7拡充	①交差点改良の要望が多く、市民の安全のため早期に交差点改良を行う必要があるため。 ②市道22号線交差点改良について、引き続き交差点部の路線測量を実施する。	3,000
5	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	一般市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。	14,622	43,850	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、一般市道の整備は不可欠である。 ②コスト削減のための整備手法の更なる検討。	31,000
6	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	私道整備事業	道路河川整備課	○	○	①未舗装私道の舗装及び舗装済み私道の補修を推進し、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②私道舗装整備要綱の見直しを図り、補修工事についても実施することになったことから、この制度を広く市民に周知すること。	0	8,698	6精査・検証	①広く市民に対し公平に道路整備を進めていくため、私道整備と市道整備のバランスをはかり今後も引き続き鋭意進めていく。 ②平成27年度の私道舗装整備要綱の改正により、舗装整備工事に加え舗装補修工事についても実施する。	6,700
7	一般	8	2	3	133児童・生徒の健康と安全の確保	通学路整備事業	道路河川整備課	○	○	①児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。 ②道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。	30,579	6,502	7拡充	①児童・生徒の通学路の安全性を早期に向上させる必要があるため。 ②歩道整備に向け引き続き市道1号線歩道部の用地取得を実施し、市道49号線について修正測量を実施する。	60,005
8	一般	8	3	1	223うるおいある河川・水路の整備	河川事務に要する経費	道路河川整備課			①準用河川整備事業、河川・水路整備事業、地域排水整備事業及び雨水貯留池整備事業を遂行するために必要な旅費等の経費。 ②交付金などの事業費取得のため、事務を迅速に行う必要がある。	542	527	6精査・検証	①治水対策を進めていくうえで、必要な経費であるため。 ②事業に有効な経費の執行を行う。	538

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	27年度決 算額[千 円]	28年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容	29年度予 算額[千 円]
9	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水浸透貯留に要する経費	道路河川整備課			①浸透施設の整備及び、市民協働事業による家庭で手軽に取り組み雨水浸透施設等の設置を行うことで、雨水管及び河川への負担を軽減する。 ②市民と協働し、いかにして雨水浸透施設の普及・啓発を進めるか。	30	11	6精査・検証	①この事業は単年で結果が出るものではなく、継続することで効果が発揮されるものであるため、効果的に実施できるよう常に検証する必要があるため。 ②より効果のある取り組みを行う。	50
10	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川・水路整備事業	道路河川整備課	○	○	①流末としての施設の確保及び流下能力の向上等を目的とした暫定改修や、上流域の流末としての機能確保のため50mm/hrの降雨に対応した段階的な整備を行う。 ②下流河川の整備の目安がついていないため、50mm/hrの降雨に対応した整備に取り組めない。	6,270	2,859	6精査・検証	①治水対策として有効な事業であることから、費用対効果を考慮した暫定改修については実施する必要がある。 ②整備時期は未定であるが、整備の目安がついた段階で整備方針等の検討を行う。また、松戸市とは、基本協定の事業期間を変更するが、早期に完了出来るよう事業期間を検討する。	4,002
11	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	準用河川整備事業	道路河川整備課	○	○	①流下能力の向上と護岸の保護を目的とした暫定改修や、50mm/hrの降雨に対応した改修などの計画策定を行い、上下流の状況を考慮し段階的な河川の改修を行う。 ②河川改修は下流から行うのが原則であるため、現時点で最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻り無いよう実施する必要がある。また、交付金事業については、交付率が低くなっており、当初想定している範囲の整備が行えない。	104,223	137,227	7拡充	①浸水被害により、市民の生命・財産に被害が及ぶため、速やかに河川改修を行う必要がある。 ②下流河川の整備が進んできたことにより、上流側でも将来形の整備を行っていく。また、将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない箇所では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。	424,857
12	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	地域排水整備事業	道路河川整備課	○	○	①浸水被害の直接的な原因が地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	30,591	78,686	6精査・検証	①治水対策として有効な事業であることから、費用対効果を考慮し事業を進める必要がある。 ②浸水被害の軽減のため、過年度から進めている箇所の整備の進捗を図るとともに、現時点で可能な最も効果のある整備手法の選定を行う。	54,046
13	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水貯留池整備事業	道路河川整備課	○	○	①浸水被害の軽減のために必要な河川調節池の整備と流出抑制を目的とした貯留池の整備を行う。整備にあたっては、河川の整備計画との整合を図る。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	23,210	75,453	7拡充	①都市化が進展し、下流の河川整備が進まない現状で浸水被害の軽減を図るには、貯留池を整備することが最善の治水対策と考えられるため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	44,990
14	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	街路事務に要する経費	道路河川整備課			①都市計画道路整備事業及び連続立体交差事業を遂行するために必要な経費の支出。 ②整備率が低く機能的な道路ネットワークの構築に至っていない。	1,642	1,805	6精査・検証	①街路整備を進めていくうえで、必要な経費であるため。 ②関係機関との連携を図り、街路事業を推進する。	2,278
15	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	北千葉道路整備推進に要する経費	道路河川整備課			①北千葉道路の事業着手に向けた要望活動等にかかる経費。 ②効果的な要望活動等を行い、北千葉道路未着手箇所の早期事業化を目指す。	135	1,287	6精査・検証	①要望活動を行った結果、平成28年12月に千葉県道路協議会で有料道路事業の活用を検討する方針が決定した。事業化に大きく前進したことにより早期完成を目指す。 ②引き続き、国や県に対し効果的な要望活動等を行う。	1,309
16	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	道路河川整備課	○	○	①県道船橋我孫子線のバイパスとしての都市計画道路であり、市域東側の主動線を確保し、県が事業主体となり事業を施行する。 ②境界が未確定の箇所があり、事業用地を取得できない。	203	0	7拡充	①機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要がある。 ②境界が確定となるよう事業主体である千葉県と連携を図っていき、引き続き用地交渉を実施する。	1,000

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	27年度決 算額[千 円]	28年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容	29年度予 算額[千 円]
17	一般	8	4	3	322利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を施行する。 ②踏切による交通渋滞が多く、市街地が分断されている。	382,256	1,006,056	7拡充	①市民から早期完成が求められているため。 ②計画下り線(津田沼方面 延長3,257m)について高架化を実施するとともに、都市交通の事業の進捗を図るため引き続き事業主体である千葉県及び関係機関と調整し必要な財源の確保を図る。	626,489
18	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4、10号中沢北初富線整備事業(中沢)	道路河川整備課	○	○	①一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に合わせ、都市計画道路の整備を図る。 ②一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。	14,626	78,724	7拡充	①一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一體的な整備が必要である。 ②都市計画道路用地と調節池用地の重複する箇所について、代替地を取得する。	29,975
19	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。 ②当該都市計画道路は東西にアクセスする道路がないため、早期に事業を進めていく必要がある。	69,570	100,787	7拡充	①新鎌ヶ谷地区と西部地区の交通を円滑に処理し、道路利用者の安全性や利便性の向上を早急に図る必要性がある。 ②事業量を拡大するため国の交付金の導入を図り、用地取得を積極的に進める。	127,628